学校番号	3020B

平成 31 年度　　情報科

教科	情報	科目	社会と情報	単位数	2	年次	1
使用教科書	「新編社会と情報」(東京書籍株式会社出版)						
副教材等	「社会と情報資料ノート」(東京書籍株式会社出版) 「事例でわかる情報モラル 30 テーマ」(実教出版株式会社出版)　他						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

●学習を通して，コンピュータシステムと社会の繋がりについて理解し，日常や将来におけるより良いコンピュータ利用を考えていきましょう。
●実習などの演習等で，友達を含めた様々な人達の多様な考え方を学び，コンピュータや日常生活とのコミュニケーションを改善する自分の考え方を築いていきましょう。

2　学習の到達目標

●情報の取捨選択を適切にできるように情報社会に関する知識を理解し，活用できる。
●適切な情報の収集・整理をもとに，普段から責任ある情報の送受信を行うことができ，情報社会に積極的に参加している。
●コンピュータを適切に使用し，基本的な情報表現を行うことができる。

3　学習評価（評価規準と評価方法）

観点	a：関心・意欲・態度	b：思考・判断・表現	c：技能	d：知識・理解
観点の趣旨	●情報を多角的・多面的に分析し，目的に合わせて適切に取捨選択する態度 ●コンピュータを問題解決に活用する態度 ●情報社会に主体的に参画する態度	●事象を情報とその結びつきから多角的に捉える力 ●情報の知識から問題に対する適当な判断を下せる力 ●問題を分解し，より良く解決できるように改善する力	●情報を表現・発信する方法を自主的に行えるスキル ●学んだ知識を基に，目的に応じて適切なサービスや情報機器を駆使し，情報を表現するスキル	●情報が社会に及ぼす影響と果たすべき責任の理解 ●情報やシステムに関係する基礎知識と活用事例を把握 ●情報を適切に扱い，問題を発見・解決する方法の理解
評価方法	●学習状況の観察 ●ノート・プリント ●レポート・発表 ●相互・自己評価	●学習状況の観察 ●ノート・プリント ●レポート・発表 ●考査の結果	●学習状況の観察 ●実習課題・発表	●学習状況の観察 ●ノート・プリント ●考査の結果
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に 5 段階の評定にまとめます。 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。				

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元（題材）の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
前期	コンピュータ概論	●情報とメディア ●信頼できる情報と信頼できない情報 ●情報の見極め	○ ○ ○	 ○ ○	 ○	○ ○ ○	a：情報を発信するメディアの特徴に興味を持ち，学習に積極的に取り組もうとしている。 b：情報を一方向的に受け取るのではなく，多角的に捉え，判断の材料にすることができる。 c：情報の背景を探ったり，情報を批評的に読み解いたりする姿勢を身に付け，実践できるよう努めている。 d：メディアの特徴と，メディアに対する姿勢を理解する。	●授業観察 ●ワークシート ●考査
	ネットワークを探索する	●インターネットの仕組み ●WWW と電子メール ●情報の検索 ●メディアの発達 ●多様な情報発信	○ ○ ○ ○	 ○ 	 ○ ○ 	○ ○ ○ ○ ○	a：ネットワークの仕組みに興味を持ち，インターネットの活用を積極的に行おうとしている。 b：メールを送る場合に，適切な送信方法を考えることができる。受信の場合に，注意すべきセキュリティに関する点を理解している。 c：インターネットを理解し，メールアプリを使用し，サービスを適切に利用することができる。 d：プロトコルや IP アドレスなどのネットワークの基礎知識，またセキュリティやネチケットを意識したインターネットの活用法を理解する。	●授業観察 ●ワークシート ●実習課題 ●考査
	望ましい情報社会に向かう	●情報システムの種類 ●情報システムの発展と進歩 ●情報化と社会の変化 ●情報システムの信頼性 ●誰もが参加できる情報社会	 ○ ○	 ○ 	 ○ 	○ ○ ○ ○ ○	a：現在の情報社会を支えている技術と活用方法に興味を持ち，学習に積極的に参加しようとしている。 b：エラーの存在を理解し，リスクを許容・低減する仕組みについて考えることができる。 c：チェックディジットの仕組みを理解し，水平パリティの計算を実行できる。 d：情報社会を支える基盤を理解し，今後の望ましい社会の展望について考えることができる。	●授業観察 ●ワークシート ●実習課題 ●考査

後期	情報を活用する	●ディジタルデータの特徴 ●情報のディジタル表現	○ ○	 ○	 ○	○ ○	a：アナログ・ディジタルに限らず，情報の形状について興味を持ち，理解しようとする態度がある。 b：情報のディジタル化の利点や問題点について考えることができる。 c：情報機器を用いて情報をディジタル化することができる。ディジタル化した情報を加工し，発信できる。2 進数を計算等で扱うことができる。 d：コンピュータ内部での情報の表現方法や処理の仕組みについて理解している。	●授業観察 ●ワークシート ●実習課題 ●考査
	情報化の影響と課題	●誰でも表現者・発信者の時代 ●情報社会の影 ●情報セキュリティ ●情報社会と著作権 ●個人情報の保護 ●ネットコミュニケーションの特徴	○ ○ ○ ○ ○	○ ○	 ○	○ ○ ○ ○ ○ ○	a：情報社会のリスクや法律について興味を持ち，積極的に学ぼうとする姿勢である。 b：情報の発信者としての自覚と，発信の際に注意すべき法律や権利・ルールを遵守し，尊重する考えや行動ができる。 c：情報機器を利用し，自分の作品を創作，ルールを守った他人の著作物の利用ができる。 d：著作権やその他の法律，マナーなど，情報社会に関わるルールについて理解する。	●授業観察 ●ワークシート ●実習課題 ●考査

※　表中の観点について　a：関心・意欲・態度　　b：思考・判断・表現
　　c：技能　　d：知識・理解

※　原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について〇を付けている。